

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
  2. 国土交通相建設専門紙記者会
  3. 国土交通省交通運輸記者会
  4. 筑波研究学園都市記者会
- 令和4年3月15日同時配布

令和4年3月15日  
道路局国道・技術課  
国土技術政策総合研究所

## 道路をよりよくするための技術研究を新規に6件採択します ～「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」募集の審査結果について～

令和4年3月7日に開催した第45回新道路技術会議において、令和4年度から3年以内で道路政策の課題の解決を目指す研究課題を審査し、新たに6件を採択することとしましたのでお知らせします。

国土交通省道路局では、「学」の知恵、「産」の技術を幅広い範囲で融合し、道路政策の質を一層向上させるため、平成16年10月より新道路技術会議（委員長：朝倉 康夫 東京工業大学教授）を設置しています。

令和3年10月8日から令和3年11月30日までの期間、令和4年度から取り組む技術研究開発の募集を実施したところ、28件の応募がありました。

今回採択された各技術研究開発の課題は、新道路技術会議での審査内容に基づき、実施内容の調整等を行った上で、令和4年度の技術研究開発を進めていただくこととなります。

会議内容の詳細は、国土交通省道路局「道路政策の技術研究開発」のウェブサイトに掲載しております。（国土交通省HP：<https://www.mlit.go.jp/road/tech/index.html>）

### <問い合わせ先>

（新道路技術会議について）

道路局国道・技術課技術企画室 課長補佐 大西 良平、係長 木村 昭雄  
代表：03-5253-8111（内線 37862、37855）  
直通：03-5253-8492 FAX：03-5253-1620

（採択課題について）

国土技術政策総合研究所 道路研究官 小川 智弘  
直通：029-864-2219 FAX：029-864-0178  
道路構造物管理システム研究官 片岡 正次郎  
直通：029-864-7604 FAX：029-864-2690

「新道路技術会議」による審査の結果、採択された研究（研究テーマ名と応募時の提案概要等）は以下の通り。

### <ソフト分野>

#### 【特定課題①：道路整備による走行時間短縮便益等を把握する手法の開発】

| 研究テーマ名と提案概要 |   | 研究代表者名             |
|-------------|---|--------------------|
| 研究テーマ名      | 道路整備による走行時間短縮便益等を把握する手法についての技術研究開発  | 加藤 浩徳<br>(東京大学大学院) |
| 提案概要        | 我が国の道路事業を対象に、事業評価手法の改善を目指し、時間価値等の原単位の設定手法および交通量推計の手法について検討し、我が国の事情に見合った新たな事業評価手法の提案を行うことを目的とする。 |                    |

#### 【特定課題②：道路整備による多様な効果を把握・評価する手法の開発】

| 研究テーマ名と提案概要 |   | 研究代表者名             |
|-------------|---|--------------------|
| 研究テーマ名      | 権利と効率のストック効果に基づく社会的意思決定方法と実用的なストック効果計測手法の開発                                 | 小池 淳司<br>(神戸大学大学院) |
| 提案概要        | 権利と効率のストック効果に基づく道路事業の社会的意思決定方法および道路事業が有する多面的な機能の評価のための実用的なストック効果計測手法の開発を行う。 |                    |

### <ハード分野>

#### 【特定課題①：DX時代において更なる道路メンテナンスの効率化・高度化に資する点検・診断・措置の支援技術の研究開発】

| 研究テーマ名と提案概要 |   | 研究代表者名          |
|-------------|---|-----------------|
| 研究テーマ名      | 統計的アセットマネジメント手法に基づくバックキャスト型道路政策の深化についての技術研究開発   | 貝戸 清之<br>(大阪大学) |
| 提案概要        | 応募者等が開発したアセットマネジメントを高度化させ、アセットマネジメントと1) 劣化属性情報、2) EBPM、3) リスクマネジメントとの融合により、それぞれバックキャスト型道路政策を支援・深化させるための方法論を開発する。                    |                 |
| 研究テーマ名      | ICTと商用車プローブデータを活用したAIによる道路維持管理システム  | 松田 浩<br>(長崎大学)  |
| 提案概要        | 道路点検にスマートフォン、ドライブレコーダー及び商用車プローブデータを活用し、高い品質と維持管理の効率化・高度化を図るとともに、路面劣化メカニズムを過去の点検データや道路台帳、交通量など様々な因子から分析し、AIを活用して次世代型維持管理計画策定手法を開発する。 |                 |

【特定課題②：カーボンニュートラルに貢献する新たな舗装材料・舗装技術の開発】※F S採択

| 研究テーマ名と提案概要 |   | 研究代表者名            |
|-------------|---|-------------------|
| 研究テーマ名      | 再生可能な水素を併産するバイオマスベースの舗装材に関する技術研究開発  | 高津 淑人<br>(東京都市大学) |
| 提案概要        | 石油アスファルトをバイオマス発電副生タールで置き換えることを目指して、当該タールの改質技術を開発し、改質タールから成る舗装材を試作・評価する。併せて、タール改質の副生物を再生可能な水素の製造にリサイクルすることを研究する。 |                   |

【政策テーマ2：持続可能なインフラメンテナンス】※F S採択

| 研究テーマ名と提案概要 |  | 研究代表者名         |
|-------------|--|----------------|
| 研究テーマ名      | リサイクル炭素繊維のコンクリート構造物用補強材への応用  | 國枝 稔<br>(岐阜大学) |
| 提案概要        | 自動車産業、航空機産業、洋上風力発電事業などで用いられる炭素繊維（CFRP）から取り出されたリサイクル炭素繊維を用い、コンクリート構造物の補修に用いる補強材を開発する。 |                |

今回採択された各研究課題については、新道路技術会議での審査内容に基づき、実施内容の調整等を行った上で、令和4年度の技術研究開発を進めていただくこととなります（応募及び審査結果の概要については、参考を参照）。

道路政策の質の向上に資する技術研究開発の応募及び審査の結果(概要)

|           |  | タイプⅠ<br>政策実現型 | タイプⅡ<br>技術ブレイク<br>スルー型 | タイプⅢ<br>新政策テーマ<br>創造型 | タイプⅣ<br>特定課題<br>対応型 | 合計        |           |
|-----------|--|---------------|------------------------|-----------------------|---------------------|-----------|-----------|
| 政策テーマ     |  | 応募<br>(件)     | 応募<br>(件)              | 応募<br>(件)             | 応募<br>(件)           | 応募<br>(件) | 採択<br>(件) |
| テーマ1      | 防災・減災が主流となる社会の実現                             | 2             | 2                      |                       |                     | 4         | 0         |
| テーマ2      | 持続可能なインフラメンテナ<br>ンス                          | 1             | 3                      |                       |                     | 4         | 1         |
| テーマ3      | 持続可能で暮らしやすい地<br>域社会の実現                       |               | 1                      | 1                     |                     | 2         | 0         |
| テーマ4      | 経済の好循環を支える基盤<br>整備                           |               | 1                      |                       |                     | 1         | 0         |
| テーマ5      | インフラ分野のデジタル・<br>トランスフォーメーション<br>(DX)         | 2             |                        | 1                     |                     | 3         | 0         |
| テーマ6      | インフラ分野の脱炭素化・<br>インフラ空間の多面的な利<br>活用による生活の質の向上 |               |                        |                       |                     |           |           |
| テーマ7      | 道路施策の実行性を確保                                  |               |                        |                       |                     |           |           |
| —         | 特定課題   |               |                        |                       | 14                  | 14        | 5         |
| 合計<br>(件) |  | 5             | 7                      | 2                     | 14                  | 28        | 6         |